

平成30年4月1日

平成29年度からの継続ケース
416件
相談員1人平均
37件

平成30年度実績
実績人数
783名
相談員一人平均71
件

障害内訳
身体:173人
知的:315人
精神:438人
重症心身障害
44人
発達:14人
高次脳:2人
その他:27人

支援方法
訪問:1861件
来所:712件
同行:1027件
電話等相談:
1804件
個別支援会議:
464件

新規ケース:345
件
再開ケース:
23件

主な紹介経路
・サービス事業所:64件
・障害者福祉課:37件
・病院:35件
・保健所:25件
・自立相談支援センター:25件
・就労関係:16件

年度内終結:278件
主な終結理由
・他機関に引き継ぎ:115件
・課題解決:50件
・情報提供:62件
・フェードアウト:30件
・その他(死亡、転居等):25件

引き継ぎ先の内訳
・特定相談支援事業所:84件
・介護保険:11件
・就労相談系:2件
・自立支援センター:2件

年度内終結:178件
(内、初回のみ:68件)

総評

継続ケースは平成30年度4月時点では416件であったのが、平成31年度4月時点では506件と90件増加し、相談員一人当たりの平均担当件数は37件から46件と約9件増えている。
終結の理由として、特定相談支援事業所への引き継ぎが84件と一番多いが、平成31年度への継続ケースのうち、特定相談支援に引き継いでいないセルフプランのケースが107件あり、特定相談支援事業所の体制整備が課題。
また、サービスを利用していない方と利用している方の割合が半々程となっていて、障害福祉のサービス調整以外の相談支援の役割、サービスに繋がるまでの総合窓口としての役割が増えている。
平成31年度への継続ケースのうち、児童の人数が60人おり、今後、児童発達支援センターとの役割分担が今後の課題。

平成31年3月31日

平成31年度への継続ケース
316件

2年以上の継続ケース:203件

平成31年度への継続ケース:
506件(相談員1人平均46件)
内、
サービスを利用していない方:243人
サービスを利用している方:263人
医療的ケアが必要な方:14人
発達障害のみの方:18人
児童:60人

うち、
委託相談で計画を作成:103件
(相談員1人平均9件)
セルフプラン:107件
特定相談支援事業所と連携して支援:60件

平成31年度への継続ケース
190件